

TRYSEM マンスリーレポート

VOL.63

【特集】 打ち込み支持率から
＜平日・休日＞の営業を再考する

最新月次レポート／POKKA吉田の「パチンコ雑記」

 TRYSEM

発行:TRYSEM プロジェクトチーム

VOL.63

打ち込み支持率から ＜平日・休日＞の営業を再考する

TRYSEM プロジェクトチーム

2020年2月頃から拡散し未だ収束の見通しが立たない新型コロナウイルスは、この1年半余りの間で、人々の社会活動や生活行動に大きな変化をもたらし、人々の意識や常識にも変化が生じているようにも思われます。その結果、パチンコ業界のみならず様々な業種業態において大きな影響が生じています。人々の行動様式が新型コロナウイルス感染症拡大前の状態に戻るかどうかは定かではなく、新しい生活様式に対応したビジネスが注目される昨今です。パチンコ業界も同様に、今後のビジネスフィールドを展望する上で必要となる様々な検証と研究に迫られていると言えます。

今月は、そのような観点から今後のマーケティングや営業戦略のヒントにできそうな点について探っていききたいと思います。

セグメント別＜平日・休日＞ 打ち込み支持率の整理

＜平日・休日＞の営業を再考するという狙いについては、新型コロナウイルス感染症感染拡大前の市場規模に戻るまでには相当の時間を要するこ

とを想定し、一時的に縮小・疲弊した現在のマーケットの中で、ロスなく的確にプレイヤーに対しアプローチするという点を重視しています。

例えば、リモートワークの普及や夜間の飲食店営業の時短などは、平日夜間の稼働にのマイナスの影響を及ぼすものと考えられます。また、ワクチン接種が一巡するまでの間は、高齢者が外出を控えるという状況が続く可能性もあります。新型コロナウイルス感染症拡大前には無かったこのような変化は、ともすればこれまでのホールの営業戦略を機能不全に陥らせている懸念もあります。

そこで、まずはプレイヤーの動向を押さえるという観点から、その動向を＜平日・休日＞という視点で整理してみたいと思います。

【打ち込み支持率】 期間：3月29日週～6月28週 【図表1】

期間平均	週間平均	平日平均	休日平均	平日から休日にかけての伸び
CRミドル海	122.6	124.7	119.6	-5.1
CRライトミドル海	43.6	41.4	46.8	5.4
CRアマ海	92.4	95.9	87.4	-8.5
CRミドル	99.7	96.3	105.0	8.7
CRライトミドル	103.6	104.7	101.8	-2.9
CRアマデジ	65.7	66.1	65.3	-0.8
Pミドル海	130.8	131.1	130.4	-0.7
Pライトミドル海	72.0	73.1	69.3	-3.7
Pアマ海	85.1	86.6	82.5	-4.1
Pミドル	118.2	116.3	120.8	4.5
Pライトミドル	95.2	93.8	97.0	3.2
Pアマデジ	89.5	91.1	87.2	-3.9
一発機	65.3	67.2	62.0	-5.1
ハネモノ	98.1	104.4	88.8	-15.6

図表1は、機種セグメント別に打ち込み支持率を週間平均、平日平均、休日平均でまとめ、平日と休日の打ち込み支持率の差をまとめたものです。

●打ち込み支持率

・打ち込み支持率=打ち込みシェア ÷ 台数シェア

例：打ち込み支持率（300%）=打ち込みシェア（3%）
÷ 台数シェア（1%）

意味：1台で3人の顧客を創出しているイメージ

「Pミドル海」「Pミドル」の 打ち込み支持率の高さに注目

図表1を確認しますと、「Pミドル海」の打ち込み支持率が<平日><休日>ともに130%を超えており、プレイヤーからの支持の安定感と根強さを感じられます。最近のミドルスペックは出玉速度が重視される傾向がある中において、「Pミドル海」の安定度が店舗評価のモノサシの1つであり続けている理由であることも頷ける結果と言えるでしょう。

同様に「Pミドル」の打ち込み支持率も<平日><休日>ともに120%前後となっており、こちらもプレイヤーからの支持を感じることができます。目下、パチンコ人気を牽引している「P大工の源さん超韋駄天 YTA」「P牙狼 MAXX-MC」などが属するこの機種セグメントの稼働状況も、現在の店舗評価の重要なポイントのひとつと言えます。

<休日>に打ち込み支持率を伸ばす 4つの機種セグメント

次に、<平日>と<休日>の打ち込み支持率の差という観点からそれぞれの機種セグメントを確認しますと、極端な差のあるものは存在しませんが「CRライトミドル海」「CRミドル」「Pミドル」「Pライトミドル」の4つの機種セグメントが<休日>に支持を伸ばしていることが確認できます。

中でも「CRミドル」の伸びは+8.7ポイントと最も高くなっており注目すべきでしょう。個別店舗で事情が異なるケースはあると思われますが、平均データとしては「CRミドル」の顧客層による打ち込みが<平日>よりも<休日>に活発化している点を押さえておきたいところです。

また、打ち込み支持率自体はそれほど高くないものの、休日にかけての伸びという点では「CRライトミドル海」が+5.4ポイントを記録している点も注目に値します。

このように整理してみますと、最新主力機種が最も多くリリースされる「Pミドル」以外に、(1)<休日>にしっかりと打ち込み支持率を伸ばしている「CRミドル」や「CRライトミドル海」(2)打ち込み支持率は<休日>に減少しているものの、その値は120%近くを記録している「CRミドル海」、などの機種セグメントの存在価値はホールにとって貴重なものと考えられます。そこには当然のことながら「<休日>しか遊技できないプレイヤー」の存在が影響しており、彼らの遊技動向に合わせた機種構成を検討する必要性が感じられます。「<休日>しか遊技できないプレイヤー」は、「Pミドル」でも遊技しているのは確かですが、<平日>との比較で言えば「CRミドル」における伸び率の方が高くなっています。つまり、そこには「最新機種よりも馴染みの機種を好む」という傾向も感じられるのです。

これらを鑑みると、(1)このような顧客が好む機種を簡単に撤去対象として決定していないか(2)安易なバラエティーコーナーへの移動など、移動先をプレイヤーが解らない状況になっていないか(3)馴染みの機種を好む顧客層にとっては複雑になったと思われる昨今のP機へ、彼らを今後どのようにして移行させるのか、などの課題が存在することが確認でき、これらに対する今後の対応が重要だと考えられます。

話題機が<平日・休日>の打ち込み支持率に与える影響と変化

<平日><休日>に支持の集まる機種セグメントやその伸び率についてご理解頂いたところで、次は話題機種導入による<平日・休日>の打ち込み支持率の変化についてまとめていきたいと思えます。

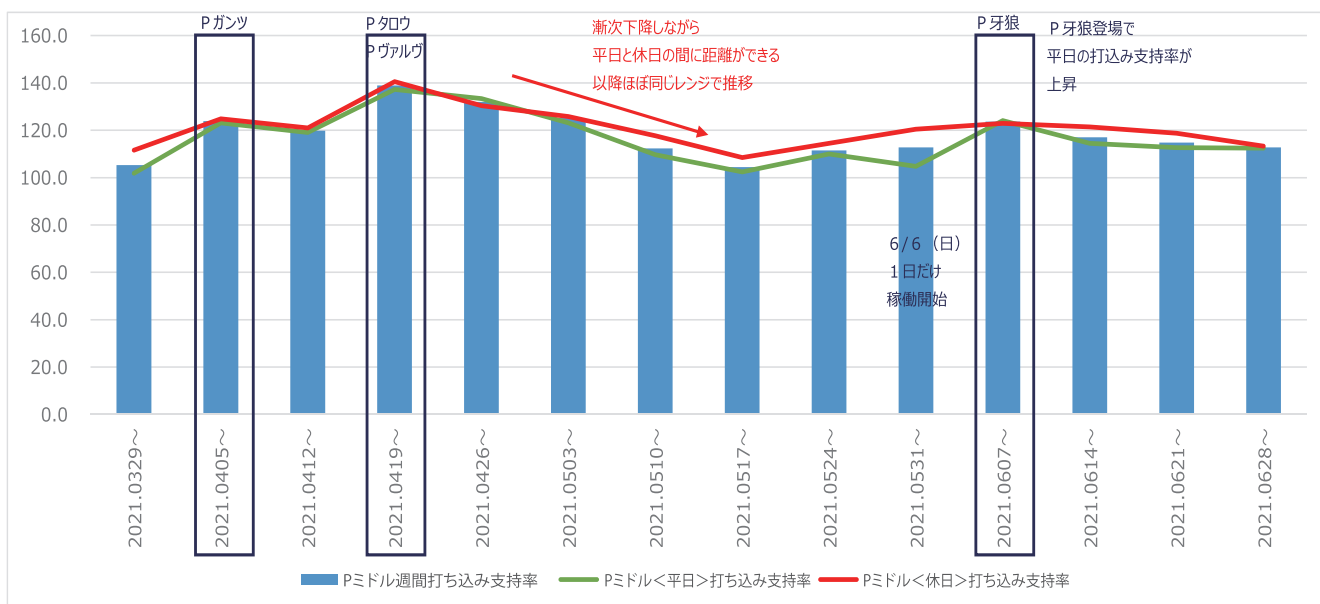
「CR ミドル」が休日にかけての打ち込み支持率の伸びが高かった点、ならびに最新話題機種が「P ミドル」を中心にリリースされている点を考慮して、これら2つの機種セグメントについて3月29日から6月28日までの打ち込み支持率を週次でまとめて、時系列の推移を確認してみました。

・「P ミドル」の打ち込み支持率の推移について

まず、「P ミドル」の推移（図表2）を確認しま

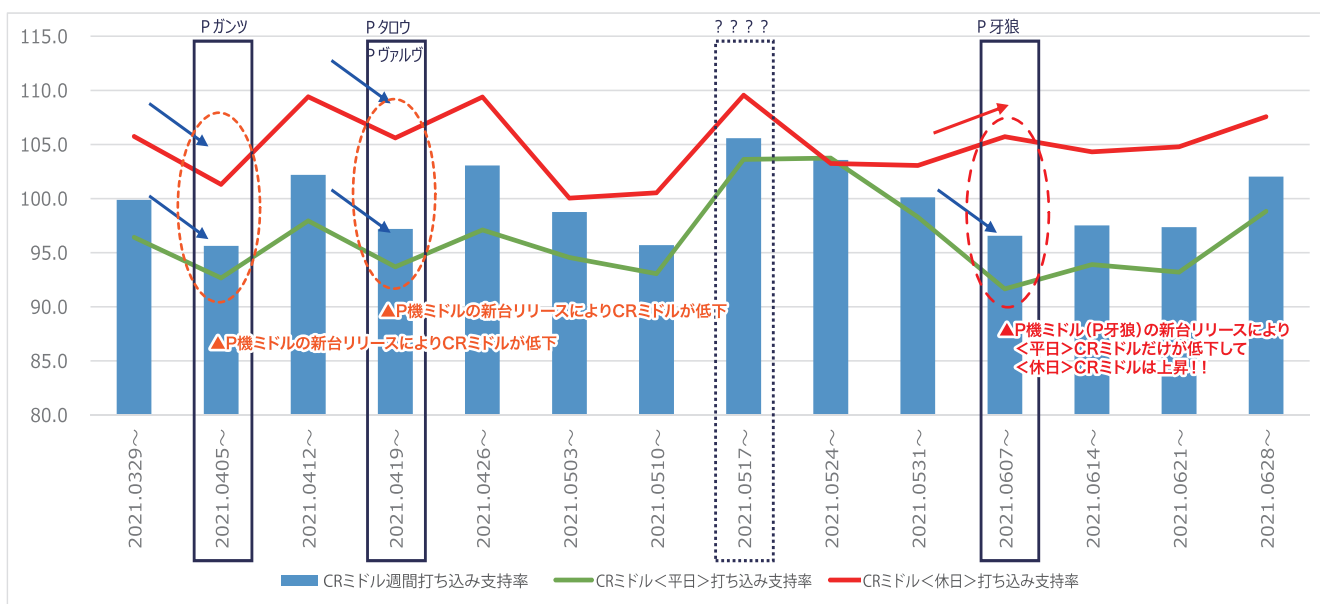
【Pミドル打ち込み支持率】期間：3月29日週～6月28週

【図表2】



【CRミドル打ち込み支持率】期間：3月29日週～6月28週

【図表3】



と、4月5日週、4月19日週、および6月7日週の<平日>が、一時的ではありますが上昇しています。

この上昇については、それぞれ要因を想定することができます。4月5日週であれば「P ぱちんこ GANTZ 極 M3」のリリース、4月19日週であれば「P ぱちんこウルトラマンタロウ 2K6」「P フィーバー革命機ヴァルヴレイヴ2S」「P ギンパラ夢幻カーニバル HTK」のリリース、そして6月7日週の<平日>は「P 牙狼 MAXX-MC」がリリースされたことが影響していると考えられます。

ただ、6月7日週に限っては4月5日週と4月19日週とは、やや様子が異なっています。4月5日週と4月19日週は、それぞれ直前週の打ち込み支持率から<平日><休日>共に大きく上昇しているのですが、6月7日週については<平日>の打ち込み支持率だけが上昇しており、<休日>の打ち込み支持率は前週の5月31日週にすでに上昇しており、6月7日週においてはなだらかな上昇にとどまっています。言わば例外的なこの事象の原因は、一部の店舗で「P 牙狼 MAXX-MC」の稼働開始日が6月6日（日曜日）となっていた事が原因で、これが1週間前である5月31日週の<休日>の打ち込み支持率に反映されたというわけです。

図表2に関する全体的な傾向を把握するために4月19日週以降の<平日><休日>の打ち込み支持率の推移を見ると、2つの折線は漸次下降しながらゴールデンウィークの5月3日週を起点に徐々に距離ができ始め、以降ほぼ同じ距離を保ちながら推移しています。これらの状況から、「P ミドル」においては最新機種が登場すると一時的に<平日><休日>共に打ち込み支持率は高まりますが、最新機種の鮮度の低下と共に、<平日>の打ち込み支持率が低下し、<休日>の打ち込み支持率が相対的に高くなるといった状況が、現在の市場の傾向と言えます。

言うまでもなく現在の市場は、コロナ禍の影響

を受けていますので、今後、市場の回復が遅れたり、あるいは回復が限定的なものとなった場合、「P ミドル」においてはこの傾向がスタンダードなものとなる可能性があります。

・「CR ミドル」の打ち込み支持率の推移について

次に、<平日>と<休日>の打ち込み支持率の差が最も大きかった「CR ミドル」について同様に確認してみます（図表3）。

「CR ミドル」の打ち込み支持率の推移は、「P ミドル」とは異なり<平日>打ち込み支持率と<休日>打ち込み支持率の差が接近することはほとんど無く、明らかに<休日>の値が<平日>を大きく上回っている状態を維持しています。

<平日>に限って言えば打ち込み支持率は大半で100%を下回っており、同じ週の<休日>になると100%を超えてくるという状況になっています。<休日>に明らかに支持が集まりやすいという点を考えれば、「CR ミドル」に関する営業の軸を<休日>に置くのが一手と言えるでしょう。

また、数値変化の特徴としては、最新の話題機種（＝「P ミドル」）が市場に導入されたタイミングで、「CR ミドル」の打ち込み支持率が一時的に下降するという現象が確認できます。最新話題機種が「P ミドル」を中心にリリースされ、少なくとも現段階で「CR ミドル」からリリースされない現状においては、当然の結果です。

「需要>供給」の関係にある 「P 牙狼MAXX-MC」が招いた特異な現象

ただ、注目すべき点として、本来は「P ミドル」の最新話題機種である「P 牙狼 MAXX-MC」リリースの影響を受けて「CR ミドル」の打ち込み支持率が低下する6月7日週は、「CR ミドル」の<休日>打ち込み支持率が、下降するどころか、逆に上昇するという現象を見せています。この特異な現象は「P 牙狼 MAXX-MC」のような市場から絶

大な反響のある遊技機がリリースされた場合に生じる特別なアクションと考えています。

少々補足しますと、「P 牙狼 MAXX-MC」が市場に与えたインパクトはご承知の通り絶大なものがあります。導入週の「P 牙狼 MAXX-MC」の打ち込み支持率はなんと 550.4%という驚異的なものであり、1 台で 5.5 人の顧客を創出したというイメージとなります。ちなみに、昨年 10 月から導入された「ミドルタイプ」の導入 1 週間の打ち込み支持率の平均は 412.5%となっており、これを大きく上回っているのです（図表 4 参照）。また、打ち込み支持率が 500% を超えた機種は、「P 牙狼 MAXX-MC」「P ベルセルク無双 M-Z」「P とある魔術の禁書目録 JUA」の 3 機種だけで、この 550.4%という数値がいかに驚異的であったのかご理解頂けるかと思えます。その驚異的な打ち込み支持率の背景には、プレイヤーの需要（期待）

【図表 4】

昨年 10 月からリリースされた「ミドル」タイプ	導入 1 週間 打ち込み 支持率
P 牙狼 MAXX-MC	550.4
P ベルセルク無双 M-Z	535.2
P とある魔術の禁書目録 JUA	532.9
P Re:ゼロから始める異世界生活 M06	494.5
P 真・牙狼 RS	478.1
P コードギアス 反逆のルルーシュ b R	473.3
P 弾球黙示録カイジ 5 V 1 A	456.8
P ルパン三世 1 1 2 Y Z 7	453.7
P フィーバー・アイドルマスター-G	449.0
P 宇宙戦艦ヤマト 2202 b S	443.4
P フィーバー・革命機ヴァルヴレイヴ 2 S	418.6
P 北斗の拳 8 救世主 SFJE	417.1
P 新世紀エヴァンゲリオン シト、新生 決戦 W	415.2
P ぱちんこ GANTZ 極 M3	406.0
P JAWS 3 H 1 A Z 5 Y	401.0
P 中森明菜・歌姫伝説 4 L M-T	397.2
P 桜花忍法帖 MD	396.1
P ぱちんこウルトラマンタロウ 2 K 6	385.8
P ギンパラ夢幻カーニバル HTK	360.0
P フィーバー・ゴルゴ 1 3 - 2 W	334.3
P アナザー・ゴッドポセイドン MH	327.9
P 巨人の星 一球入魂 3 0 0 0 MH	324.9
P スーパー海物語 IN 沖縄 5 L T V	309.4
P ひぐらしのなく頃に～瞬～ AM-S	297.1
P ピンクレディー H 1 Y Z 3	254.3

に対して、供給（販売台数）が追いついていないことが指摘されています。その結果、人が集まりやすい<休日>に、「P 牙狼 MAXX-MC」で遊技できないプレイヤーが、「CR ミドル」に流出し、その結果として「CR ミドル」の打ち込み支持率が上昇に転じたというのが TRYSEM プロジェクトの現在の見解です。今後も「P ミドル」において同様に話題を集める最新機種が登場した際には、似通った現象が再現されるかもしれません。

・5 月 17 日週に「CR ミドル」が不可思議に上昇した原因

ここまでは、最新機種導入時の影響・変化についてお伝えしました。ここからは図表 3 において「CR ミドル」の打ち込み支持率が不可思議に上昇した 5 月 17 日週について触れたいと思います。

この週の特徴としては、（1）5 月 17 日週は、5 月の中で最も稼働が落ち込んだ週であった（2）5 月 10 日週にリリースされた「P ミドル」機種は「P 北斗の拳 8 救世主 SFJE」であった（3）5 月 17 日週は「P ミドル」の打ち込み支持率が（5 月において）最も低い週であった、という点が挙げられます。

5 月 17 日週は「CR ミドル」にしてみれば、本来は「P ミドル」の最新機種に打ち込み支持率を奪われるタイミングとも言えるのですが、ご承知の通り、「P 北斗の拳 8 救世主 SFJE」に対するプレイヤーの反応が鈍く、「P ミドル」の打ち込み支持率は上昇しませんでした。

打ち込み支持率は、機種セグメント間で「負の相関関係」が成立します。従いまして、「P ミドル」の支持が伸びない状況下では、同一スペック帯の「CR ミドル」へ支持が流れ、その打ち込み支持率が上昇するという現象を招いているようです。最新機種に魅力がない場合や、直前にリリースされた最新機種が期待はずれに終わった場合、プレイヤーが馴染みの「CR ミドル」に流出する可能性をこれらのデータは物語っています。これもまた、「CR ミドル」の打ち込み支持率が例外的に上昇す

るケースと言えるでしょう。

話題機登場時に表面化するプラス相関、その原因を考える

ここまでは<平日・休日>の遊技動向について、打ち込み支持率を軸に確認してきました。その中で「P ミドル」と「CR ミドル」の関係性については特に注目される内容となっていました。両者にはここまでに示した通り、基本的には「負の相関関係（マイナス相関）」が確認されていました。簡単に言えば「P ミドル」が上昇すると、「CR ミドル」が低下するということです。

しかしながら、「P 牙狼 MAXX-MC」が登場した6月7日週の<休日>の「CR ミドル」の打ち込み支持率のように、需要に供給が追いつかないほどの「P ミドル」の話題機の登場に際しては、双方が同時に上昇する事象＝正の相関関係（プラス相関）となる場面も存在します。

ここからは、さらにこの正の相関関係（プラス相関）についてもう少し掘り下げた話をしてみたいと思います。図表5は、6月7日週の「P 牙狼 MAXX-MC」導入週にフォーカスして、機種個別に打ち込み支持率の前週からの変動状況をまとめたものです。上から打ち込み支持率の増加が大きい機種から降順に、上位20機種を掲載しています。

話題機「P 牙狼 MAXX-MC」導入週と前週の打ち込み支持率の差分を降順で並べた上位20機種を確認してみると、そのシリーズ機が4機種含まれており、うち3機種が上位を占めています。つまり、「需要>供給」という状態にある「P 牙狼 MAXX-MC」で遊べないプレイヤーが、シリーズ機に流れたということが推測されるわけです。

このような傾向を事前に考慮しておくことで、機種配置などの戦略の幅が広がるものと考えられ、「需要>供給」という状況を上手く活用することができます。

【図表5】

P 牙狼導入週 対前週比 上位20機種（降順）	5/31日 週	6/7 週	打ち込み 支持率 差分
CR牙狼GOLDSTORM翔XX-SSS	40.9	66.5	25.6
P牙狼コレクションMA	41.2	64.3	23.1
CRジュシーハニーRR	89.7	112.5	22.8
P真・牙狼RS	67.4	83.8	16.5
PAハイスchool・フリートAE	32.1	45.5	13.3
Pバジリスク2MD	33.8	47.1	13.3
P真黄門ちやまH1AZ5	18.7	31.9	13.1
PA新世紀エヴァンゲリオン シト、新生 決戦YR	127.5	139.9	12.4
P結城友奈は勇者であるMaa	38.1	48.2	10.1
P真北斗無双第2章頂上決戦SEA	16.8	26.6	9.8
CRドラム麻雀物語9BR1	51.2	60.4	9.2
PばちんこAKB48-3A10	21.8	30.8	9.0
PAミルクバーN-W6	34.6	43.6	9.0
CR JAWS再臨H1BY2	42.8	51.5	8.7
Pデジハネ七つの大罪CXE	43.6	52.0	8.4
PSーパー海物語INジャパン2MTR	17.8	26.1	8.3
Pフィーバーマクロス△A	20.0	28.1	8.1
P牙狼刃島鋼牙XX-MU	22.0	29.8	7.9
CRダイナマイトキングin沖縄1/28AC	29.7	37.4	7.6
CR蒼天の拳天婦FWG	49.6	57.0	7.5

具体的には、今回の場合、（1）「P 牙狼 MAXX-MC」と同時に旧牙狼シリーズ機を同時に導入し、牙狼シリーズファンの顧客の最大化を図る（2）「P 牙狼 MAXX-MC」導入以前から徐々に旧牙狼シリーズを導入または増台し、牙狼シリーズに注目を集めた中で「P 牙狼 MAXX-MC」を導入してファンの最大化を図る（3）旧牙狼シリーズ機の近くに「P 牙狼 MAXX-MC」を設置し、オーバーフロー分を吸収する、などの戦術が考えられます。もっと多くの「P 牙狼 MAXX-MC」を導入できれば済む話かもしれませんが、打ち込み支持率の変化を捉えながら、柔軟な発想で最適な対応を考えたいところです。

最後に、「P 牙狼 MAXX-MC」の現在の稼働状況は、「需要>供給」というプレイヤー（とホールの）飢餓感が背景にあるのも事実でしょう。今後、メーカーから同様の手法で人気機種のリリースがされないとも限りませんので、その際には今回の経験やここでご紹介したデータを上手く活用して、万全の体制で臨んで頂きたいと思います。 ■

TRYSEM プロジェクト 各担当者の見解



戦略を練る上で話題機をたくさん導入し競争上優位に進めるというのも正解の一つでしょうが、この話だけを切り取り片づけてしまえば大資本企業に優位性が生まれるのは当然の事です。しかし、その一方でリスクも伴います。強者（大資本）、弱者（そうではない）という表現を用いれば、かつては強者の方が有利であると考えられた時代もありましたが、昨今の環境下においてはどちらも戦い方という点においては常に変化対応が求められ、数値変化の微細なサインにアンテナを張り巡らせながら常に顧客の動向や傾向を知る必要があるように感じます。このような観点で申し上げると、「台データ視点」から「顧客データ視点」へのシフトが重要な意味を占めているように感じると同時に、ここから導き出された仮説や検証結果に対しアクションを起こす「スピード感」という点においても重要且つ意識すべき点であるように感じます。

平日・休日の打ち込み支持率の変化について注目してみました。その中でも店舗運営の中心である、CR ミドル機及び P ミドル機の動きを見てみると、やはり新台入替の効果が大きいことがわかります。また、P ミドル機の打ち込み支持率が平日・休日大きく変わらないのに対して、CR ミドル機の打ち込み支持率は、平日に比べて休日に大きく伸びています。休日しか来店しないユーザーがCR ミドル機を好んで遊技しているという状態は、今後大きな問題を抱えています。CR ミドル機は撤去していく必要がありますので、ユーザーにとっては好きな機種・なじみの機種が無くなってしまうこととなります。休日のみに来店するユーザーは、ちょっとしたきっかけで来店することをやめてしまうことがあります。そのため特に中小規模の店舗にとっては、撤去予定の機種を遊技しているユーザーがどの系統の機種を好んでいるか、そして新機種への誘導をどのようにしていくかを細やかに検討をしていく必要があります。



TRYSEM プロジェクト
上席研究員 DRO 元



TRYSEM プロジェクト
上席研究員 柚木 正徳

月次データ (パチンコ)



集計対象期間：2021年6月1日～6月30日

パチンコ全体	遊技種\項目	台数 シェア	アウト	台売上	台粗利	玉粗利	玉単価	稼働 時間	時間 粗利	粗利 シェア	
	4パチ	32.3%	7,380	13,090	2,290	0.31	1.77	1.5	1,550	41.7%	
	2パチ	0.8%	6,570	5,240	1,120	0.17	0.80	1.3	850	0.5%	
	1パチ	24.8%	13,010	4,520	1,080	0.08	0.35	2.6	410	15.0%	
	0.5パチ	1.8%	13,520	1,960	650	0.05	0.14	2.7	240	0.7%	
	パチンコ	59.7%	9,890	9,090	1,720	-	-	2	870	58.0%	
※アウト、売上、粗利データには上記以外のレートが含まれております。											
4パチ	機種 タイプ1	ミドル	40.2%	8,200	15,690	2,620	0.32	1.91	1.6	1,590	48.5%
		319ミドル	4.7%	12,250	23,120	2,880	0.24	1.89	2.5	1,170	6.3%
		旧ミドル	13.4%	4,210	7,840	1,410	0.34	1.86	0.8	1,670	8.7%
		ライトミドル	20.8%	6,050	10,180	1,940	0.32	1.68	1.2	1,600	18.6%
		ライト	20.8%	6,000	8,580	1,870	0.31	1.43	1.2	1,550	17.9%
	機種 タイプ2	確変機	17.7%	7,210	11,760	1,700	0.24	1.63	1.4	1,170	13.9%
		ST機	14.2%	7,000	10,720	1,910	0.27	1.53	1.4	1,360	12.5%
		V-ST機	27.4%	5,560	10,120	1,760	0.32	1.82	1.1	1,580	22.2%
		V-確変機	8.3%	6,260	11,550	2,090	0.33	1.84	1.3	1,660	8.0%
		確変機(転落タイプ)	1.2%	2,740	4,740	1,230	0.45	1.73	0.6	2,240	0.7%
		1種2種混合	29.8%	8,520	16,410	3,010	0.35	1.93	1.7	1,760	41.3%
		羽根物	0.8%	6,760	7,190	2,050	0.30	1.06	1.4	1,510	0.8%
		一般電役	0.3%	5,770	7,630	2,380	0.41	1.32	1.2	2,050	0.3%
		特殊(リミット機)	0.3%	3,330	6,720	2,700	0.81	2.02	0.7	4,040	0.4%
機種 タイプ1	ミドル	34.1%	5,610	5,500	1,200	0.21	0.98	1.1	1,070	36.6%	
	319ミドル	2.1%	7,950	7,450	-120	-0.02	0.94	1.6	-80	-0.2%	
	旧ミドル	0.4%	270	440	350	1.30	1.62	0.1	6,460	0.1%	
	ライトミドル	29.7%	6,240	5,140	1,190	0.19	0.82	1.3	950	31.6%	
	ライト	33.7%	7,820	4,960	1,060	0.14	0.63	1.6	680	31.9%	
機種 タイプ2	確変機	19.8%	5,880	4,280	720	0.12	0.73	1.2	610	12.9%	
	ST機	23.9%	7,600	5,300	1,100	0.14	0.70	1.5	720	23.6%	
	V-ST機	13.7%	5,650	4,690	980	0.17	0.83	1.1	860	12.0%	
	V-確変機	7.1%	5,280	4,390	1,160	0.22	0.83	1.1	1,090	7.4%	
	確変機(転落タイプ)	2.4%	3,360	2,910	550	0.16	0.87	0.7	820	1.2%	
	1種2種混合	31.3%	6,850	6,350	1,450	0.21	0.93	1.4	1,050	41.0%	
	羽根物	1.1%	12,200	4,530	1,310	0.11	0.37	2.4	530	1.2%	
	一般電役	0.4%	8,730	5,810	1,160	0.13	0.67	1.8	660	0.5%	
	特殊(リミット機)	0.3%	2,450	1,970	700	0.28	0.80	0.5	1,420	0.2%	
	機種 タイプ1	ミドル	24.3%	10,410	4,520	1,050	0.10	0.43	2.1	500	23.7%
319ミドル		1.4%	14,390	5,900	1,330	0.09	0.41	2.9	460	1.7%	
旧ミドル		0.1%	8,980	3,760	1,110	0.12	0.42	1.8	620	0.1%	
ライトミドル		22.5%	12,590	4,600	1,090	0.09	0.37	2.5	430	22.7%	
ライト		51.7%	14,390	4,440	1,080	0.08	0.31	2.9	370	51.7%	
機種 タイプ2	確変機	26.0%	12,680	4,250	950	0.07	0.33	2.5	370	22.9%	
	ST機	32.7%	14,770	4,640	1,050	0.07	0.31	3.0	350	31.8%	
	V-ST機	14.7%	11,640	4,310	1,140	0.10	0.37	2.3	490	15.5%	
	V-確変機	7.4%	11,130	4,190	1,110	0.10	0.38	2.2	500	7.6%	
	確変機(転落タイプ)	1.8%	8,570	3,420	990	0.12	0.40	1.7	580	1.6%	
	1種2種混合	16.5%	12,770	5,210	1,300	0.10	0.41	2.6	510	19.9%	
	羽根物	0.4%	10,560	2,270	320	0.03	0.21	2.1	150	0.1%	
	一般電役	0.4%	15,000	4,610	1,010	0.07	0.31	3.0	340	0.3%	
	特殊(リミット機)	0.1%	7,430	2,590	1,080	0.14	0.35	1.5	720	0.1%	
機種 タイプ1	ミドル	18.4%	11,120	1,840	570	0.05	0.17	2.2	260	15.7%	
	319ミドル	1.2%	16,920	2,230	530	0.03	0.13	3.4	160	1.0%	
	旧ミドル	31.2%	15,270	1,770	710	0.05	0.12	3.1	230	33.2%	
	ライトミドル	16.1%	11,400	1,710	620	0.05	0.15	2.3	270	14.9%	
	ライト	33.1%	15,790	2,130	710	0.04	0.14	3.2	220	35.3%	
機種 タイプ2	確変機	21.3%	13,120	1,840	570	0.04	0.14	2.6	220	18.4%	
	ST機	19.1%	16,040	2,180	720	0.04	0.14	3.2	220	20.7%	
	V-ST機	40.3%	15,160	1,880	730	0.05	0.12	3.0	240	44.2%	
	V-確変機	6.4%	12,220	1,930	580	0.05	0.16	2.5	240	5.6%	
	確変機(転落タイプ)	1.3%	11,350	1,660	660	0.06	0.15	2.3	290	1.3%	
	1種2種混合	10.5%	9,850	1,580	570	0.06	0.16	2.0	290	9.0%	
	羽根物	0.3%	13,050	1,190	310	0.02	0.09	2.6	120	0.1%	
	一般電役	0.4%	20,740	3,200	800	0.04	0.15	4.2	190	0.5%	
	特殊(リミット機)	0.3%	5,490	500	310	0.06	0.09	1.1	280	0.1%	

月次データ（パチスロ）



集計対象期間：2021年6月1日～6月30日

パチスロ全体	遊技種\項目	台数シェア	アウト	台売上	台粗利	コイン粗利	コイン単価	稼働時間	時間粗利	粗利シェア
	20スロ	33.3%	4,740	12,630	2,050	0.43	2.67	2.4	860	38.5%
	10スロ	1.1%	3,470	5,140	1,210	0.35	1.48	1.8	690	0.8%
	5スロ	4.3%	5,690	4,180	800	0.14	0.73	2.9	280	1.9%
	2スロ	0.8%	7,770	2,560	490	0.06	0.33	3.9	120	0.2%
	パチスロ	40.3%	4,870	11,190	1,850	-	-	2.5	750	42.0%

※パチスロの全体シェアは、上記レート以外の部分を含んでいます。売上、粗利データも同様です。

20スロ	機種タイプ	A	38.4%	6,490	15,710	2,730	0.42	2.42	3.3	830	50.9%
		AT	45.5%	2,990	9,070	1,400	0.47	3.03	1.5	930	31.0%
		ART	3.2%	3,650	11,260	2,010	0.55	3.09	1.8	1,090	3.1%
		A+ART	12.9%	5,980	16,400	2,380	0.40	2.74	3.0	790	15.0%
	Aタイプ内訳	ジャグラー	74.0%	8,630	21,460	3,910	0.45	2.49	4.4	900	85.6%
沖スロ		18.2%	4,190	10,960	1,980	0.47	2.62	2.1	940	10.7%	
ニューパルサー		2.0%	3,030	8,710	1,800	0.59	2.87	1.5	1,180	1.0%	
その他Aタイプ		5.9%	3,670	10,530	1,530	0.42	2.87	1.9	830	2.7%	
10スロ	機種タイプ	A	21.9%	4,720	6,040	1,590	0.34	1.28	2.4	670	28.9%
		AT	57.1%	2,470	4,010	940	0.38	1.63	1.2	750	44.3%
		ART	5.7%	2,700	4,240	1,180	0.44	1.57	1.4	870	5.6%
		A+ART	15.3%	5,720	8,410	1,680	0.29	1.47	2.9	580	21.2%
	Aタイプ内訳	ジャグラー	40.1%	6,440	8,840	2,500	0.39	1.37	3.3	770	57.9%
沖スロ		43.3%	3,280	4,490	1,220	0.37	1.37	1.7	740	30.5%	
ニューパルサー		4.3%	2,670	3,570	660	0.24	1.34	1.3	490	1.6%	
その他Aタイプ		12.3%	3,120	5,090	1,390	0.45	1.63	1.6	880	9.9%	
5スロ	機種タイプ	A	15.0%	7,950	4,770	1,010	0.13	0.60	4.0	250	18.9%
		AT	64.8%	4,640	3,630	670	0.14	0.78	2.3	290	54.4%
		ART	6.5%	4,940	3,790	890	0.18	0.77	2.5	360	7.3%
		A+ART	13.8%	8,500	6,290	1,130	0.13	0.74	4.3	260	19.5%
	Aタイプ内訳	ジャグラー	49.1%	11,610	7,380	1,540	0.13	0.64	5.9	260	60.0%
沖スロ		27.8%	7,380	4,400	1,000	0.14	0.60	3.7	270	22.0%	
ニューパルサー		8.0%	7,730	5,420	1,210	0.16	0.70	3.9	310	7.6%	
その他Aタイプ		15.1%	5,100	3,590	870	0.17	0.70	2.6	340	10.4%	
2スロ	機種タイプ	A	12.6%	9,060	2,560	460	0.05	0.28	4.6	100	11.9%
		AT	68.1%	7,300	2,460	470	0.06	0.34	3.7	130	65.3%
		ART	6.3%	7,410	2,570	470	0.06	0.35	3.7	130	6.0%
		A+ART	13.0%	9,130	3,020	640	0.07	0.33	4.6	140	16.8%
	Aタイプ内訳	ジャグラー	32.0%	11,130	3,350	830	0.07	0.30	5.6	150	48.9%
沖スロ		41.1%	12,820	3,460	240	0.02	0.27	6.5	40	18.5%	
ニューパルサー		8.4%	12,290	4,090	860	0.07	0.33	6.2	140	13.4%	
その他Aタイプ		18.5%	6,510	1,900	560	0.09	0.29	3.3	170	19.2%	



POKKA 吉田の ぱちんこ雑記

寄稿：POKKA 吉田



続・遊タイムの是非を論じる「くだらなさ」

先月、遊タイムの是非議論が極めてくだらないということを強調させていただいたが、「牙狼」の大成功によってさらにそれを裏付けてくれている。

誰がなんと言おうが bc 時短やりミッタ緩和の解釈基準改正と日工組内規改定（つまり遊タイム等）がなければ「牙狼」の性能は実現できないのであり、しかもその「牙狼」の中古相場は近年トップレベルの価格帯を推移している。1 台でそこそこの自動車の新車が、10 台で一軒屋を買うことができるレベルの値段となっており、これは明らかにこの数年で最高値だ。

遊タイムが搭載されようがされまいが、遊タイムの性能が極めて天井に近いものかそれとも回転数稼ぎ程度のものか等々も、是非の話にはなるはずもない。そもそも先月号では甘デジの是非を論じるかのような話だとしたが、他の言い方をすれば「1 種+2 種混合機の是非」とか「3 つ図柄揃い液晶演出の是非」などと同じだ、ということもできる。

平たく言えば、遊タイムの是非論を真面目に考えるのはまさに時間の無駄である。くだいようだが、遊タイムが搭載されようがされまいが、客が支持する機械になるかどうかは別問題であり、遊タイムが搭載されて良い機械もあれば遊タイムが搭載されなくて良い機械もある。こんな当たり前のことを現在、私はいろんなところで繰り返し強調している。それは「牙狼は混合機で特別だから遊タイムはそもそもよくない」と物知り顔でノタマウ人がまだかなりたくさんいるからである。

実は、2011 年に出した拙著の中で「ぱちんこの天井搭載」の可能性について触れている。実際は天井ではなくて遊タイムということになり確率の問題で遊タイムが抜けてしまうということはあるが、混合機の場合は遊技客が意図的に止め打ちなどで外さない限りほぼ 100% 大当たりに到達することができる設計が可能なかた。その意味では天井的な性能として搭載されている遊タイム機が「牙狼」以外でも同じ程度の営業成績を出せるようになればなお嬉しいとは思っている。パチスロは AT 機の場合は天井があるわけだからぱちんこにもあつていい、ということはずっと思っている。

一つ言えるのは、“遊タイム”なる言葉。日工組としては“天井”という言葉を使用しないように努力していたわけだが、浸透するかどうかは当初、読めなかった。“遊パチ”なる愛称が業界挙げての取り組みだったにもかかわらずあまり浸透したとは言えないことも理由である（遊パチという呼称よりも甘デジやライトと多くの業界関係者は言うわけである。羽根モノやちよいパチも含めての遊パチという呼称には違いないのだが）。だが、“遊パチ”という呼称はその字義からして意味がわかりやすい。“遊タイム”よりは意味がストレートなのだ。

しかしその“遊タイム”という呼称。これはおそらくファンや業界関係者含めてかなり浸透してくれた。その意味では極めてくだらない議論にも僅かばかりの価値はあったのだろう。浸透したのだからもう本当に不要である。

12:00



< 5 SUNTAC



既読
11:58

昨日の新台稼働わかる 🤔 ?



5月1日導入の新台速報です 😊

🎯 パチンコ 🎯

・P サンタック 9QV

アウト:28,940

玉単価:1.98

玉粗利:0.30

🎰 スロット 🎰

すべて見る >

既読
11:59

元ネタはどこから !? 📝



サンタックの公式 LINE 🙌



友だち 募集中。

それ、 本当ですか？



システム横断型業界統計サービス

TRYSEM

トライセム

1
自店の
営業成績が
全国平均に
遠く及ばない。

全国平均よりも著しく低いという判断は正しいですか？ 貴店が参考にしている全国平均はいくつの情報を見て検証していますか？

一般的には、単一よりも複数の専門家に意見を求める方が、より良い判断ができるとされています。

2
新台
導入直後の
稼働実績は、
自店の数字しか
参考にできない。

競合店の実績を確認することは不可能でも、全国平均ならばすぐに確認できるのが自然ですよね？

遊技台の短命化が進んでいる中で、1日でも1時間でも早く他店実績を知ることができれば、自店の新台からより多くの利益を確保できる可能性が高まります。

3
自店
未導入の
中古台は、
確認する情報が
多くて面倒。

全国的な稼働の良し悪し、自店の稼働貢献終了機種との比較、購入時の相場・・・1つのサービスでこれらの情報を確認することはできないのでしょうか？

得られる結果とかけるコストが同じであれば、必要な時間を短縮できる方が良いのは当然です。

これ、TRYSEMなら解決です！

導入されているホールコンピュータに依存しない統計データなので、セカンドオピニオンに最適です。

新台データも翌日11時には公開されるので、知らない店舗に一步先行くアクションが取れます。

全国的に実績の良い自店未導入機種を複数ピックアップし、その中古台取引相場とともに提示します。

無料プランほか6タイプの料金プランをご用意。
詳細については、気軽にお問い合わせください。